



彩湖自然学習センター
Vol.3 2001.10

彩湖

だより

SAIKO

喉元過ぎれば
熱さ忘れる

記録的な猛暑と少雨の続いた今夏の異常天候は、科学的な証明が順次されていくでしょう。例えば、温暖化を見ても確実に速度を増し高くなっています。

8月の催し「虫とり」では、小学男子と参加した妹（3才）は夢中になって虫を追いかけていました。幼児期の生き物との小さな出会いが、動物愛護への醸成になることを期待しているところです。

万物の霊長としては、他の生物を守り、助け、育てる環境づくりの義務があるのではないのでしょうか。京都議定書は、緑の豊かな地球を救えるのでしょうか？



ヨシ



ヒメアカタテハ



イガガヤツリ



ススキ



オオオナモミ



トノサマバッタ



タコノアシ



クサキリ



マツカサススキ



クルマバッタモドキ

ショウリョウバッタ

オギ



キンガヤツリ



キンエノコログサ



サクラタデ



イヌタデ



ヘニバナボロギク



ヤマトシジミ



アキノノゲシ

彩湖周辺の自然は大小の水面と比較的背丈の高い草原（くさはら）そして小規模な樹林が点在する環境となっています。このため昆虫もこれらの環境に適用した種類が観察できます。

春

2月も下旬となると成虫で越冬したキタテハ・キチョウが枯草やオオイヌノフグリの花の上で観察できます。続いてシジミチョウの仲間のベニシジミ・ツバメシジミやモンキチョウ・ツマキチョウがとびはじめます。ツマキチョウは年に1回だけ春に現れるチョウでオスでは羽の先端がオレンジ色をしています。モンキチョウはマメ科の植物に卵を生みますがアカツメクサで幼虫を多く観察できます。



ツマキチョウ



モンキチョウ



コムラサキ



チョウトンボ

夏

6月に入るとハンノキ林では「県の蝶」ミドリシジミの季節です。梅雨空の夕方梢の近くで羽を輝かせながら飛んでいます。また、少ないながらも樹液が出るクスギがあり、ここにはゴマダラチョウ・コムラサキ等のタテハ蝶の仲間や甲虫が集まります。特にヒラタクワガタが採れたこともありました。トンボの種類も多くなり、広い水面ではオオヤマトンボ・ウチワヤンマが、水生植物が生い茂った場所ではアジアイトトンボ・クロイトトンボのイトトンボ仲間やチョウトンボ・ショウジョウトンボが観察できます。チョウトンボはチョウのように羽が広く濃い藍色が特徴です。ショウジョウトンボは全身真っ赤なトンボです。

彩湖自然学習センター
生物調査員 鈴木 幸

秋

夏を丘陵地で過ごしたアキアカネが戻ってくると草原では鳴く虫のコーラスの最盛期となります。昼間に鳴くもの。夜に鳴くものと種類により分かります。昼間はトノサマバッタ・ショウリョウバッタ等の大型のバッタが観察できます。

アカトンボ

赤いトンボがすべてアカトンボではなく、アカネ属のトンボの仲間をこうよびます。代表的なものではアキアカネで、数が多く彩湖周辺でもたくさん観察できます。数は少なくなりますが、顔まで赤くなるナツアカネ、羽の先端が黒いノシメトンボ、額が白粉を塗ったように青白いマイコアカネがいます。アカネの仲間はおよそ17種類国内では確認されていますが、そのうち彩湖周辺で確認されているのは4種類です。



アキアカネ



ナツアカネ



ノシメトンボ



マイコアカネ

◆豊かな心をはぐくむ自然とのふれあい

彩湖自然学習センターでは、多くの学校が来館し、センター周辺に広がる草原や池において野生の生き物とのふれあいを楽しむ自然体験活動が展開されています。

初めてのザリガニつりで3匹もいっぺんに釣れ、その瞬間沸き起こる歓声。釣ったはよいもの手でつかめずに助けを呼んでいる子もいます。草原では、網を持ってバッタを追いかける子、花の首飾りをつくる子など、各自の興味をもとに活動を楽しんでいます。じっとしゃがみ込んで、5mmほどのショウリョウバッタの赤ちゃんを見つめ「こんなにちっちゃいのに、生きているんだよ」と生命の神秘にふれ感動している子もいます。



子どもたちは、生きものとのふれあいを五感を通して楽しみ、驚き、感動しながら、生きものの営みや自然の在り方を学び、豊かな心をはぐくんでいるのです。

様々な自然体験、社会体験の豊富な子どもほど社会性に富み、道徳観、正義感などが育っているという報告もあり、体験活動等の充実を図ることが法律の上でも明確にされました。これからも、より多くの子が心豊かに成長することを願い、自然との感動的な出会いの場という大切な役割を果たしていきたいと考えています。



彩湖自然学習センター講座

食べられる野草

自然観察会

センター周辺を散策し、食べられる野草の特徴を実際に手にしながら観察しました。タンポポ、シロツメクサ、クズ…等、その気になって探してみるとたくさんあるものです。天ぷらにして試食してみましたが、評判は上々。「こんなにおいしいとは思いませんでした」と多くの参加者は感動していました。



原っぱで虫をさがそう

こども自然観察教室

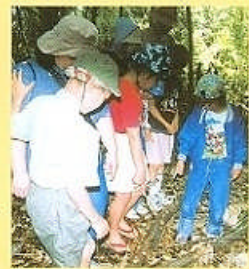


遊歩道わきの草原で、バッタを中心に採集しました。子どもたちの背丈より高いアシやセイタカアワダチソウの中へ入り込み、草のジャングル探検を楽しんでいる子もいました。「捕まえた!」とあちらこちらから大きな歓声があがりました。大きく成長したトノサマバッタやショウリョウバッタをこわごわと触り、その感触を楽しんでいました。

探検、屋敷林跡

こども自然クラブ

屋敷林跡へ向かう途中、夏鳥のオオヨシキリ、ツバメなどを観察しました。オオヨシキリはしきりになわばり宣言をしており、じっくりとその姿を観察することができ子どもたちは大喜び。屋敷林跡の中へ入り込んでいくと、鳥の食べられた跡、カマキリの卵、シロアリの巣などを発見。他にももっと何かあるのでは…と生きもの探しに没頭していました。



彩湖周辺散策

〈中之島〉

この島は、東京外環自動車道の彩湖と荒川にかかる幸魂大橋の南側にあります。島と言っても、実は送電線の鉄塔を支えている足場です。

彩湖の掘削工事中は最後まで東岸と西岸を結ぶ回廊として残り、工事用の車輜が往き来していました。

平成8年に鉄塔周囲の護岸工事が終わると、東西を結ぶ工事用通路が取り除かれ、彩湖に貯水が始まると、完全に孤立してしまいました。今では、渡るとしたら船でしか行くことができません。従って、島の面積は狭いの



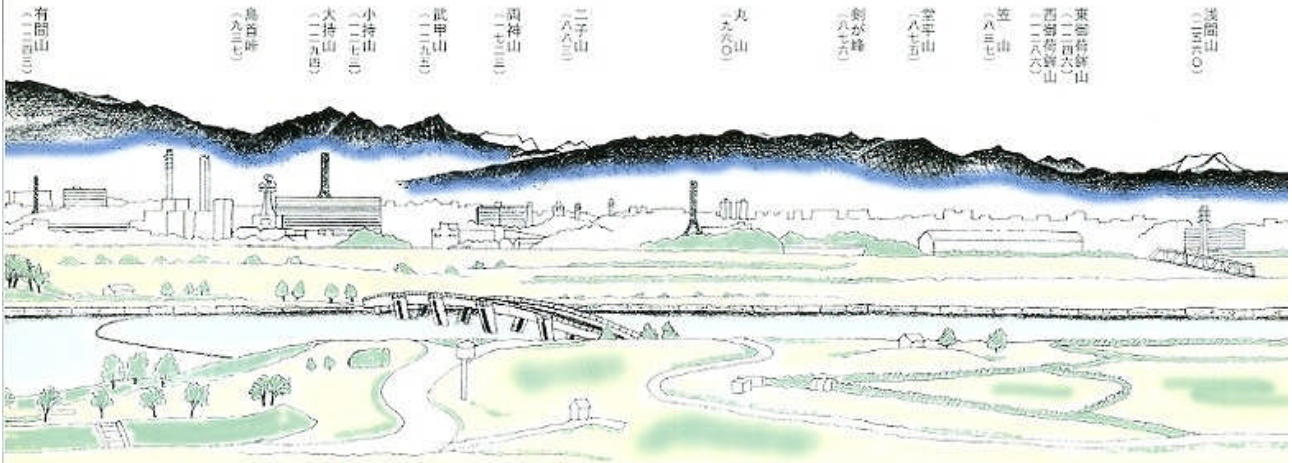
ですが、垂直方向には高く鉄塔が伸びているので、鳥たちにとっては格好の高層マンションと言ったところ

です。湖面すれすれの下部にはカモの仲間やアオサギが羽を休め、鉄塔の中程まではカワウのお休み処です。また、

最上部には時々ハヤブサやチョウゲンボウ等の猛禽類が獲物をねらって留まっています。

彩湖に水が貯えられてからは、誰一人として立ち入ることのない「人跡未踏」の地となって、正に、鳥たちの楽園となりました。

▶ 彩湖から見える山々



深い秩父の山なみに連なる甲武信岳を水源とする荒川は、一度大雨が降れば短時間で流域の水が荒川本川に流れ込み、有史以来これまでも何度となく氾濫を繰り返してきました。

一方、この「荒ぶる川」は人々に恵みの水を与え、人々の生活を支えてきた埼玉の母なる川であったとも言えます。さて、今年の夏は雨が少なく、一部で取水制限などの措置が執られました。が、「荒ぶる川」の恵みの水を十分に貯えた彩湖は、今夏の渇水状況で大活躍しました。埼玉県と東京都が飲み水などを取水している秋ヶ瀬地区において、その確保が困難となったので彩湖に併設する浄化施設を稼働させ、2ℓのペットボトルに換算してなんと19億本分相当の水道水を確保しました。

また、彩湖では治水・利水だけではなく、生き物にやさしい生息空間を創造し、環境保全に努めてきました。今年度新たにピオトープ池の整備や緑化舗装などもさらに整備し、首都圏に残された貴重な空間を確保して参ります。

もよおしのご案内

- **自然観察会** (一般・親子対象)
～彩湖周辺の植物・昆虫等の観察会～
・10月14日(日)・12月16日(日)
- **野鳥観察会** (一般・親子対象)
～彩湖周辺の野鳥を観察する～
・11月18日(日)・12月9日(日)・(2002年)1月20日(日)
・2月24日(日)・3月24日(日)
- **子ども自然観察教室** (小・中学生対象)
～彩湖周辺の植物・昆虫等の観察会～
・10月27日(土)・11月24日(土)・(2002年)3月23日(土)
- **子ども自然クラブ** (小・中学生対象)
～継続して自然体験・奉仕的活動を行う～
・(2002年)1月26日(土)・2月23日(土)
- **地域自然観察会** (公園緑地公社との共催事業)
～彩湖・道溝グリーンパーク内の自然観察～
・(2002年)1月5日(土)

※開催日・内容等変更する場合がありますので、電話にてご確認ください。

彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地
TEL 048-422-9991 FAX 048-422-9993
URL <http://www.toda-c.ed.jp/saiko> E-mail saiko@toda-c.ed.jp

・この新聞がよりは環境にやさしい再生紙を使用しています。

ご利用案内

- 開館時間 / 午前10時から午後4時30分まで
- 休館日 / 毎週月曜日(休日を除く)
休日の翌日(土曜日・日曜日・休日を除く)
館内整理日(毎月末日)(土曜日・日曜日・休日を除く)
12月28日から翌年の1月4日まで
- 入館無料

交通案内

- **お車ご利用の場合**
 - ・東京外環自動車道 戸田西ICより約0.5km
 - ・新大宮バイパス 美女木交差点より約1km※彩湖・道溝グリーンパーク南駐車場(500台収容)から徒歩3分
- **電車ご利用の場合**
 - ・JR北戸田駅から下管目経由西川口駅行きバス
 - ・JR西川口駅西口から下管目経由北戸田駅行きバス
 - ・JR南浦和駅西口から武蔵浦和駅経由下管目行きバス
 - ・東武東上線成増駅北口から戸田車庫行きバスいずれのバスも「修行目」バス停下車徒歩8分

